

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校目標】

○よりよい生き方を求め 今と未来を主体的に生きる子ども 自分を高め 共に育つ子ども を育成する渋川小学校の創造

<重点目標> 渋川 やり切る 2023 ~わたしのEeっぽ！ みんなのEeっぽ！ みんなでEeっぽ!!~

【現状と課題】

- 視点1 ・学力の高い一部の児童の発言で学習がまとまる様子がある。ICTの活用を工夫し、対話的な学び合い活動ができる環境づくりを促進する必要がある。
- 視点2 ・前年度、児童会が中心となって学校目標に向かう力を高めることができていた。本年度はさらに前年度の取り組みを活かしながらも児童主体の考えをもとに学校づくりに取り組んでいくことを目指す。
・総合的な学習の時間のカリキュラム設定において地域との手を離れた後の実施体制に見通しが立っていない。本校の地域に根差したカリキュラムの良さを残しながらも児童の実態にあった内容の見直しを図り、児童の学びを社会に発信していく手立てを精選していく必要がある。
- 視点3 ・本校は特別支援を必要とする児童が12.3%、不登校傾向の児童が約2.4%在籍している。教育相談担当と情報連携を図りながら、個別最適な学習支援についての理解を深めていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
○話し合い活動や対話的な活動によって学びが確かなものになるよう、校内研究の場を通じて教員のファシリテート力の向上を図る。	・子どもアンケート「自分の考えを話したり、友達の話を聞いたりして学習しようとしている」の強い肯定率55%以上。		
○「対話的・協働的で深い学び」を目指して、ICTを効果的に活用した実践を推進する。	・子どもアンケート「電子黒板やiPadを使った学習は分かりやすい」の強い肯定率60%以上。		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
○フレンズデーや人権週間・今月の一歩・きずなつながら委員会の取り組みを通じて、学校生活の身近な課題について子どもが議論する機会を設定する。そうすることで自分たちの生活が良くなった実感を持てるような価値づけを行う。	・子どもアンケート「自分にはよいところがある」の強い肯定率50%以上。		
○「地域に学び社会にはたらきかける子どもが育つ学校」を目指して、学びを実生活や社会につなげるための発信を工夫する。	・総合的な学習の時間アンケート「地域や社会をよくするために何をすべきかを考え、行動することがある」の強い肯定率50%以上。		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
○不登校・発達課題のある児童についての情報共有を教職員、保護者、教育相談担当の間で密に行い、学校全体で見守る体制を整える。	・子どもアンケート「学校での生活は楽しい」の強い肯定率65%以上。		
	・子どもアンケート「先生は、あなたの良い所を認めてくれる」の強い肯定率55%以上。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるための手立て等

- 子ども生活・学習アンケート（7月と2月）調査結果の分析・報告・改善策を提案する。
- 教員のファシリテート力向上と効果的なICT活用の探究をテーマに、授業公開及び授業研究会を行う。（年間7回）
- 学校目標である「Eeっぽ」を全校の合言葉とし、児童会活動など全校が関わる場で行動の価値づけができる機会を図る。
- 特別支援学級の参観授業（年1回）を実施する。

今年度の取組の成果と課題

--